

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	エクセルⅢ					科目コード	T1580F1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	1 単位	
担当教員名	池田 大輔	履修グループ	2H(BI/BO)					授業方法	演習	
実務経験の内容	資格スクールにおいて、MS-Office (Word・Excel・PowerPoint・Access) を利用した顧客名簿の管理業務全般、及び教材の編集業務に携わった。その経験を活かし、ビジネスシーンに必要な MS-Office 活用のスキルを実践的に講義する。									
学習一般目標	1 年生前後期に学習した「EXCEL I II」をベースに、グラフ、関数、ピボットテーブル、分析ツールを用いて、応用的な機能と操作方法を学ぶ。 ビジネスの現場で起こる問題の解決、課題達成のためにデータ収集し、Excel を用いてデータを処理すること、結果を考察して問題解決の糸口を見つけ、新たな問題や課題の発見につなげる方法について学習する。MOS 試験(一般、応用)合格を目指す。									
授業の概要および学習上の助言	・教科書を活用した実習と演習問題									
教科書および参考書	学生のためのデータリテラシー、補足資料等									
履修に必要な予備知識や技能	Microsoft Excel2019(基礎、応用)									
使用機器	各自のPC									
使用ソフト	Excel									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	各専門職業分野において必要な実践的な専門的知識・技術を修得し、ものづくりやシステムづくりに活用できる。(知識・理解)								
	3	豊かな人間性・創造性を持ち、社会人として、技術を社会に役立てることができる。(態度)								
	5	社会人として、専門的知識・技術を修得するために、自ら継続的に学習し、キャリアを形成できる。(関心・意欲)								
	1									
	1									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解			40					40
		2.思考・判断								
		3.態度			20					20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							40	40
総合評価割合				60				40	100	
評価の要点										

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	筆記試験は実施しません。
小テスト	
レポート	課題作成、課題提出
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	第1章 データ活用と必要なスキル 01なぜ「データ活用力」が期待されるのか 02データと分析結果の対応付け 03分析結果の利用とは 04データ分析のための Excel 第2章 データの準備とデータのタイプ 01ネットでデータを探す 02アンケートデータの利用 03データの対象	講義・パソコンを用いた 実習	
第2回	第2章 データの準備とデータのタイプ 04 3つのデータの形 第3章 アンケートデータの要約 01データの要約とは 02 Excelで要約 03グラフでデータを視覚化 04データを分析(何に役立つか) 05 グラフでデータを図解する	講義・パソコンを用いた 実習	
第3回	第4章 質的変数の分析 01 質的データを比較 02 仮説とは 03 分析結果からファインディング(主観的解釈) 04データと仮説の関係	講義・パソコンを用いた 実習	
第4回	第5章 量的変数を代表値で要約 01 平均値の活用 02 平均値とデータの分布 03 度数分布とヒストグラム	講義・パソコンを用いた 実習	
第5回	第6章 量的変数をバラツキで要約 01 バラツキを数値化 02 売上データを分析 03 データの誤差とは	講義・パソコンを用いた 実習	
第6回	第7章 平均と標準偏差の活用 01 複数の変数 02 異なる単位の変数の比較 03 ズレの大きな値(外れ値)の評価 04外れ値の活用	講義・パソコンを用いた 実習	

第7回	第8章 量的データを比較 01 2つの平均値を比較 02 たまたま度を加味(標準誤差を活用) 03 たまたまを客観的に評価(仮説検定の利用) 04 バラツキを比較	講義・パソコンを用いた 実習	
第8回	第9章 平均値の比較をアイデア評価に応用 01 アイデア評価のためのデータを収集 02 集めたデータでアイデア評価(対応なしデータ) 03 対応ありデータでアイデア評価	講義・パソコンを用いた 実習	
第9回	第10章 散布図を活用して関係性を分析 01 人事評価データ(試験データ)の分析 02 散布図から評価 03 相関分析の応用	講義・パソコンを用いた 実習	
第10回	第11章 回帰分析を活用して関係性を分析 01 価格と売上個数の関係を分析 02 散布図に直線を当てはめる 03 予測で説明できない部分の計算 04 分析ツールで回帰分析	講義・パソコンを用いた 実習	
第11回	第12章 関係性の分析で改善点を見つける 01 満足度調査データを収集 02 満足度と重要度の組み合わせの散布図 03 相関と回帰分析を活用した分析 04 原因変数を複数同時に検討(重回帰分析)	講義・パソコンを用いた 実習	
第12回	第13章 時系列データを分析 01 経済データを分析 02 トレンドのあるデータの読み取り方 03 繰り返しパターンのあるデータの注意点	講義・パソコンを用いた 実習	
第13回	0第14章 データ分析の活用するためのポイント 01 データ分析の結果の伝え方 02 分析手法の全体像 03 さらなる学習	講義・パソコンを用いた 実習	